

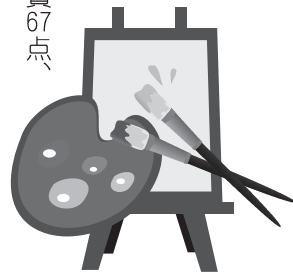
こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

第74回 県展開催

新潟日報社、新潟県、新潟市などが主催する県内最大の総合美術展、第74回新潟県美術展覧会が開催されました。日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に3611点の応募があり、審査の結果、入賞67点、入選1037点となりました。

これらの作品は5月31日(金)から6月9日(日)まで新潟展として、朱鷺メッセのウエーブマーケットを会場に展示されました。小須戸地区からは8名の作品が入選されました。入選作品については本号と次号の2号にわたり、紹介します。



洋画部門

「うしろん」

村山 成夫さん(舟戸)



秋の夜、月あかりに照らされたススキに、突然の風。巻きついたツルがほどけ、野葡萄の実も弾け飛びました。

写真部門

「叱られて」

大塚 耕栄さん(鎌倉)



おばあちゃんと孫の写真です。中々言う事を聞かない孫に対し、ついに・・・しかし孫も中々・・・の場面です。

書道部門

「翁方綱詩」 佐久間杏華さん(小須戸)

今回が初出品で中国の古詩160字を無心に書き上げました。一文字一文字丁寧に書いた7時間は、爽快で貴重な時間となりました。



「アイシテルニイガタ」

横山サチ子さん(新保)

熱狂的なアルピサポーターを夕日がいい感じで照らしてくれてラッキーな1枚でした。

大好きな写真を撮り続けたいと思います。

「人口減少から思うこと」



森田耕司さん(小須戸)

人口減少社会は、私たちが今日まで経験したことのない問題を突きつけると予想される。秋田県では人口が100万人を割り、新潟県でも225万人を割ったという。政府から見ると人口減少とは税収減であり、あらゆる組織

が今までのような考え方で通用しなくなる。教育問題では幼稚園・保育園の統廃合問題が生じ、やがて小学校や中学校の統廃合問題へ進むと考えられる。区役所も合理化され住民サービスの低下が懸念される。そんな中で私たちはどのように生きるべきか。自治会等とコミ協と秋葉区自治協議会が透明性をもって一体化し、諸問題を解決する。これが秋葉区自治協議会の考え方であり、三休の間には「とほり」があつてはならないのであると私は思うのである。

ピンポン卓球教室(第一期)

小須戸体育館の指定管理者である「秋葉区スポーツフィールド運営グループ」では4月57月の土曜日の午前中に全10回シリーズとして、小須戸体育館において「ジュニア卓球教室(第一期)」を実施しており、小学4年生から中学2年生までの子供たちが練習に励んでいます。

取材当日は、全く卓球をしたことのない人から、中級者レベルの子供たちが、小須戸卓球クラブの吉田芳夫さんより、熱のこもった指導を受けていました。

初級者は、まずは狙った所にラケットで打ち返す練習を中心としていました。中級者は回転のかかったボールの打ち方や、疲労度の少ない手足の運びなどの技術的な部分について、タブレット端末で動画を撮影して、フォームを分析・矯正を行っていました。



1回ワンコイン(500円)で、指導者の個人レッスンを受けられるというのは、とても魅力的です。お子さんの運動不足解消や技術力の向上に向け、参加してみたいかがでしょうか。今後、好評につき「ジュニア卓球教室(第二期)」を企画しています。募集の詳細は小須戸武道館内にある「秋葉区スポーツフィールド運営グループ」(☎38-2121)までお問い合わせください。

まちの茶の間 だんだん・嶋岡「開設3周年記念バザー」を開催

5月23日(土)、子供も大人も誰もが安心して「住み慣れた家で自分らしく暮らし続けることができる地域」の実現を目指し、支え合いの仕組みづくりを進める拠点として開設された秋葉区地域包括ケア推進モデルハウス「まちの茶の間 だんだん・嶋岡」において3周年記念バザーが開催されました。

会場では、当日参加費不要でコーヒーやポップコーンなどがもてなされ、醤油おこわやお饅頭の販売のほか、同会場で月2回開催される「チクチク布遊び教室」に参加する人たちの手作り作品やワークセンターほほえみの「さをり織」の展示・販売が行われ、多くの方で賑わいました。運営する任意団体「こすどプラチナネットワーク」の皆さんも感慨ひとしおの様子でした。これからも、だんだんの名前の由来である「愛」「感謝」「ありがとう」「ようこそ」の精神で、「人と人がつながるみんなの居場所」として地域の皆さんと一緒に育んでいきたいものです。



2019新潟シティライズのエイドステーションで「うしろん」がどきわいました



補給食として、「うしろん」小須戸加工部会が手作りの地元野菜をふんだんに使ったカレーや、にんにくやしょうがの味の効いた鳥ムネ肉の油淋鶏風サラダなどが振る舞われ、長距離を走り疲れたライダーに癒しと潤いを与えました。

参加者にインタビューしたところ、「うしろん」のカラーを味わうことを目的に参加しています。など、非常に好評でした。

健康づくりのために、来年は皆さんも参加してみたいかがでしょうか。



◆期間 7月24日(水)～8月31日(土) ◆時間 午前9時～午後5時
◆会場 小須戸まちづくりセンター1階ロビー ◆対象 小・中・高校生
※まちづくりセンター休館日(第2・第4木曜日、お盆期間)は除く。

小須戸小学校図書室 夏休み地域開放

◆期間 7月26日(金)、7月29日(月)～8月2日(金)、8月5日(月)、8月7日(水)、8月20日(火)
◆時間 午前9時～正午

公民館講座紹介

小須戸地区公民館 令和元年度

素敵な年の重ねかた

今年度のテーマは「無形資産」といった
目には見えない資産について考える！です。
★Money(お金)には換算できない幸せについて考えていきましょう。

【1回目】
9月6日(金)
つながり

社会的な繋がりが多い人は認知症になりにくいそうです。近所、地域コミュニティと繋がる実践的な方法を学びます。
講師:新潟経営大学教授 中島 純 さん

Health Wellness
【2回目】
9月13日(金)
健康

認知症や心拍数を防ぐ健康寿命のほし方(自分に合った方法)を学びます。
講師:新潟経営大学教授 安田 翼 さん

【3回目】
9月20日(金)
知識

Know:知る事より始めよう。ことを知らず社会づくり。地球にやさしく暮らす自分サイズのプロジェクトを学びます。
講師:地球温暖化防止推進員 白井 智雄 さん

★時 間: 午後7時15分～午後8時45分
★会 場: 小須戸まちづくりセンター 研修室1・2
※2回目のみ 多目的ホール
運動しやすい服装でお越しください
★対 象: 成人(50歳以上の方)
※1・3回目は40名程度、2回目のみ25名程度
(希望回のみ参加もできます)
★参加費: 無料
★募集期間: 7月16日(火)～9月4日(水)
★申し込み先: 小須戸地区公民館 ・0250-25-5715

4月～6月の公民館実施事業の紹介

●おいしい楽しい小須戸お花塾&楽しく健康フィットネス

◆「おいしい楽しい小須戸お花塾」
「花と緑のまち小須戸」ならではの「お花」を使った「花育」と、おやつ体験を通して「食育」の2つを親子や祖父母と一緒に学びました。この講座は家庭教育力の向上と世代間交流を目的として実施しました。

4・5・6月の第4土曜日(公財)新潟県都市緑花センターの「花と緑のアドバイザー」の中野節子さんを講師として実施しました。



桜餅の仕上げに真剣に取り組んでいた



ダリアなどを使ったアレンジメント

◆「身体も心もリフレッシュ!! 楽しく健康フィットネス」
普段運動不足な方々を対象に、有酸素運動などを通して自身の健康の維持増進を図ること、講座を通じて知り合った仲間とのつながりをひろげてもらうことを目指し、昼間働いている方でも参加しやすいように午後7時15分開始とするなど工夫をしたところ、募集から数日も経たない間に定員に達し、キャンセル待ちが生じる程反響のあった事業となりました。

講師の永井みさ子先生の指導で手足のストレッチをしながら前後左右



はじめは思い通りの動きができずに戸惑いもありましたが、体を動かすにつれて、戸惑いが笑顔に変わった瞬間に、参加者が楽しんでいっているのを感じました。

講座の最終日には先生に何名かの生徒さんがサークル化に向けての相談をしていました。

文芸欄

小須戸地区図書室新刊案内

【一般書】
・池上彰のあした選挙へ行くまえに (池上彰)
・復讐専用ダイヤル (赤川次郎)
・妖怪アパートの幽雅な日常 1～10 (香月日輪)
・宝島 (真藤順丈)
・白秋期 (五木寛之)
・ポケットに名言を (寺山修司)
・10代のうちに知っておきたい 折れない心の作り方 (水島広子)
・一切なりゆき (樹木希林)

【児童書】
・それしかないわけないでしょう (ヨシタケシンスケ)
・お化けの真夏日 (川端誠)
・じごくのそうべえ (田島征彦)
・小学生のかっこいい!!自由研究 (成美堂出版/編)
・でんじろう先生のわくわく科学実験 (米村でんじろう)
・おし花の工作図鑑 (岩藤しおい)
・ルルとララのアイスクリーム (あんびるやすこ)

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、7月22日(月)までに小須戸地区公民館へ。

短歌	川柳	俳句
<p>年令共に多くなりゆく吾の方言 日本語で話せと孫は云うなり 鈴蘭の真つ白な花が美しく 庭のあちこち群生してる 八重山の海染め上げて夕日落つ ハイビスカスの華と競いて アオサギの幼鳥二羽が餌探し 無事に巣立ちし田んぼを歩く</p>	<p>川柳 (助ける) 古希近し世話した孫に助けられ 先輩の助言頼みの岸に着く 助け合い出来る体で献血車 夏が来たこの服捨てず助かった 究極の助っ人やはり諭吉祥 いくじなし妻のひとこと助けられ</p>	<p>俳句 夜鷹啼く令和最初の月満つる 観音の開眼供養や新樹光 読経の墓前をよぎる夏の蝶 初夏の宵令和寿ぐ老夫婦 カーネーション蕾多きが届きけり 夏の雨忙中閑の朝寝とす 有明の月に新樹の風さやか 治るより生きるよろこび合飲の径 わが実家と同じ屋号よ栗の花 花ざくろいくつ零れし夕暮に</p>
<p>こみけ 久保みね子 玲泉 高橋キヨ</p>	<p>奉和 渡辺信崇 保科栄二郎 会田修 増井都留 能登としお 保科志枝 浄宗</p>	<p>熊倉ひろむ 佐久間久子 丸山紀子 中野太浪 風間幸子 本多玲子 吉田松子 間野えり 馬場綾子 吉澤文子</p>

一人の力は小さくても、力を合わせて 豪華なスターマインを山の手の夜空に!!

8月3日(土)開催の『山の手地区あい夏まつり』にて、新元号を花火を打ち上げることになりました。つきましては、この花火の協賛金と募金を8月2日(金)までふれあい会館にて受け付けておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご協力いただきました協賛金と募金は花火打ち上げ資金として有意義に活用させていただきます。

8月3日(土)20:00頃、
矢代田小学校周辺上空を見上げてみてください!

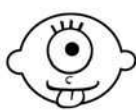


8月8日 子どもプロジェクト 「私たちの小須戸“今”そして“未来へ” 記録映像のプロジェクト上映会

小須戸小学校6年生が総合学習で1年間取り組んできた成果を「小須戸の未来」をテーマに毎年発表してきました。子供たちの発想は大人には無い視点でユニークなものがあり、小須戸コミュニティ環境・教育会ではそれらのアイデアを発表するだけでなく、具体化するお手伝いをしたいと考えました。「プロジェクト上映会をしたい」というアイデアを取り上げ、実現に向けて小学校、中学校、そして子供たちとともに取り組みました。そして、出来上がった映像をまちづくりセンターの壁に投影して、プロジェクト上映会を行います。

子供たちの活動の成果をたくさんの地域のみなさまから見に来ていただきたいと思ひます。

上映日時: 8月8日(木)
19:00～20:00
場 所: 小須戸まちづくりセンター
北側駐車場
(雨天の場合は3階ホール)



こわい おはなし会
◆期間 7月20日(土) ◆時間 午前10時半～11時
◆会場 小須戸まちづくりセンター1階保育室 ◆対象 どなたでも ◆申込み 不要

